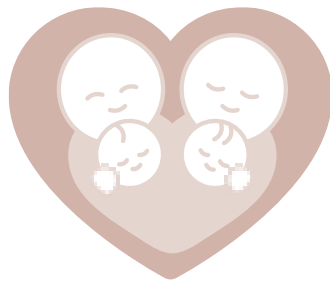


一般社団法人BECAME
事業報告書
2024年度



BECAME

Introduction

BECAMEについて

- 化学流産/中絶/流産/死産/新生児死/乳児死などを経験した、すべてのお母さん、お父さんをサポートするために設立しました。

VISION

- 我が子とのお別れ後のサポートが溢れる世界
- すべての地域にてグリーフケアや産後のフォローアップを受けられる環境
- 育休に代わる休暇を取得可能(金銭的な負担軽減/心の回復の時間)

MISSION

- 我が子とのお別れを経験したすべてのお母さん、お父さんにサポートを受けてもらえるよう積極的に認知活動を行う
- 手軽に心のケアを受けられる環境を提供し、いつでもそばにいる存在に
- 年間2万人以上の赤ちゃんが亡くなるという事実の認知度向上と行政への働きかけ

団体概要

- <https://became.or.jp/>

年次活動の概要・詳細

主な活動の概要・詳細

- 当事者の方へのカウンセリング支援(無償サービス)
 - 個別オンラインおはなし会の実施
 - 11月より予約受付開始。同じ経験をしたお母さんやお父さんが話を聞いたり相談に乗り都度のサポートではなく、月命日を一緒に共有したりとライフイベントも共有出来るような伴走型支援を提供しています。
 - また2024年度は当事者ボランティアの方2名に参加いただき、より多くの当事者の方の支援を行えるようにしました。
 - インスタグラム内ダイレクトメッセージでのご相談支援
 - メッセージにてご相談を受付、対応を行う。
- 就労支援
 - 復職や転職を支援できるよう、株式会社スペシャルサンクス(人材紹介会社)との業務提携を行い、在宅ワークをメインとしたお仕事紹介を行う。
※2期目より開始
 - 就労支援説明会実施
 - 説明会にて提携企業スペシャルサンクス様の紹介やその他在宅ワークのお仕事情報を共有。グループ・個別含め11回実施し、計17名動員。
 - ・ スペシャルサンクス様へのご紹介者数:3名(雇用数:0)
- 赤ちゃんのお見送りガイドブックの設置推進・拡散
 - 有志の団体で作成された【赤ちゃんのお見送りガイドブック】の印刷冊子化、行政や病院への設置推進、拡散を担当。オンライン上でもダウンロードしやすくするためLPの制作も進行中。
 - 設置・配布実績
 - ・ 北海道大学病院周産母子センター様
 - ・ 宮城県仙台市全7区
 - ・ 福岡県志免町
 - ・ 東広島市こども未来部こども家庭課
 - ・ 札幌市手稲保健センター
 - ・ 札幌市西保健センター
 - ・ なちゅら鍼灸院 様
 - ・ 仙台市青葉区 称覚寺 様
 - ・ 株式会社sugar 様
 - ・ もちづき助産院 様

- 啓発
 - 子供を亡くした後のサポート制度の必要性に関し啓発(東京都江東区議員 三次ゆりか様)
- SNSを使った情報共有や拡散
 - 主にInstagramにて広報を行っています。
- WEBサイト内ブログにて情報発信
 - 当事者の想いや、抱える悩みに対しての向き合い方などブログにし情報発信を行っている。
- WEBサイト更新
 - ダウンロードのページ
 - 赤ちゃんのお見送りガイドブックのダウンロードが可能。今後様々な情報をダウンロード可能予定
 - 法人様向けサービスページ
 - 研修セミナーに関しての情報を掲載。今後も更新予定
 - 当事者の声 ※現在準備中
 - どのような制度が必要か/どのようなサポートがあれば嬉しいかなどを掲載予定
 - 賛同企業のリンク&バナー追加予定 ※現在準備中
- 継続寄付受付開始
 - 今までは銀行振り込みでの寄付のみを受け付けていたが、Ready for、Syncableを通し、継続寄付(Syncableでは単発の寄付も可)の受付を開始。
- 助成金
 - 2件採択
 - 赤い羽根共同募金会 そだてる助成
 - NPO協議会 組織の土台がため応援助成金
- イベント出展
 - 栃木県足利市で開催されたイベント「TSUNAGU」に出展し、天使ママや流産死産等の喪失に関しての認知向上のため、ガイドブックなどを配布。
- フェムテックイベント参加
 - イベント参加回数:1回
 - イベントにてフェムテック関連企業様との情報交換を行った。
- 収益事業
 - 研修セミナー:2社実施
 - 赤ちゃんの喪失に対する社会理解を広げる取り組みとして、これまでに2社延べ788名の企業研修参加者に向け、喪失体験への理解促進と支援の重要性について研修・啓発活動を行った。
 - SNS運用:1件

参加者数と支援者数

- 寄付の支援者と支援額
 - Ready for継続寄付支援者2名:45,000円(2024年9月～2025年4月)
 - 銀行振込での寄付支援者数2名:6,000円(2024年5月～2025年4月)
- イベント・研修・カウンセリング実施及び参加者数(2025年4月30日時点)
 - オンライン個別おはなし会:62回実施
 - オフラインイベント:3回実施(計10名動員)
 - インスタグラムDM相談:176件
 - 就労支援説明会:11回実施(計17名動員)
 - 企業研修:2社(788名)
- SNSフォロワー数(2025年4月30日時点)
 - X公式アカウント:フォロワー782名
 - Instagram公式アカウント:フォロワー1,511名
 - Facebook公式アカウント:フォロワー1名
 - Threads公式アカウント:フォロワー252名

SNSフォロワー合計:2546名

WEBサイト・SNSの活用

- SNSにて安定的なインプレッション数を獲得
 - インスタグラム:総インプレッション数38,634を獲得(2024/5/1～2025/4/30)
 - 昨年よりも多くなっており、当事者へ情報を届ける事ができている
 - X(旧Twitter):運用を中止
- WEBサイト(Googleアナリティクス)
 - 総ユーザー数:5,349名(2024/5/1～2025/4/30)
 - 総セッション数:7907回(2024/5/1～2025/4/30)

今後の展望

伴走型支援の継続と進化

これまで継続して提供してきた、流産・死産などの喪失を経験された方々が安心して気持ちを語れるカウンセリングサービス「おはなし会」を、今後もいつでも・何度でもご利用いただける形で提供してまいります。2024年度からは、当事者でもあるボランティアの方々にもご協力いただき、より多くの方に寄り添える体制を整えました。2025年度はこちらも継続し、心理カウンセラーなどの有資格者にも参加いただきながら、お一人おひとりの「お別れの形」に寄り添いながら、多様なニーズに応じた柔軟なサポートの充実を目指します。

また、相談のハードルをさらに下げ、日常の延長線上で気軽に対話できる場として、公式LINEアカウントを2025年度に開設予定です。予約不要でつながれる新たな窓口として、誰もが安心してアクセスできる環境を整えてまいります。

BLAWイベントの開催

2025年度は、BLAW(Baby loss awareness week)の一環として、東京都・大阪府にて当事者向けのオフラインイベントを開催予定です。このイベントは、同じ経験を持つ方同士が出会い、分かち合い、寄り添い合える場として設計します。参加者が安心して想いを語り合える機会を創出するとともに、当事者の声を広く社会に届け、理解と共感を広げていくことを目的としています。

すべての従業員に安心を届ける職場支援サービス

総務省「労働力調査」の最新の調査結果によると、女性の就業者数は3098万人で過去最高の水準となり、過去15年で約452万人増加しています(※1)。こうした社会の変化を受け、企業においても流産・死産などの喪失を経験された方が安心して職場復帰できる環境づくりが求められています。

BECAMEでは、「おはなし会」の法人向け予約枠の確保や復職支援サービスの提供、ならびに従業員向けの研修サービスを通じて、制度と文化の両面から当事者にやさしい職場環境の実現を支援します。研修を導入することで、喪失経験や赤ちゃんとのお別れに関する理解を深めると同時に、女性だけでなく男性の当事者にも配慮した包括的な職場づくりが可能になります。さらに、制度や支援体制が整っていることで、他の従業員にとっても安心感が生まれ、企業全体の従業員満足度やエンゲージメント向上にも寄与します。

《参考》※1:総務省「労働力調査」長期時系列データ基本集計 1-a-1

就労支援とキャリア形成のサポート就労支援

人材紹介会社との連携により、当事者の社会復帰に向けた就労支援を行います。
単なる紹介で終わるのではなく、「おはなし会」との併用により、心理的ケアとキャリア支援を
両立させた伴走型の支援体制を構築しています。
今後は、BECAME主催のキャリアアップ支援勉強会の開催に加え、外部キャリアスクールや
スキルアップセミナーとも連携し、復職・転職の不安を抱える方々が前向きに働くことができる
よう、多様な学びと選択肢の提供に力を入れてまいります。

医療・自治体との連携による社会的基盤づくり

「赤ちゃんのお見送りガイドブック」の印刷・配布を通じて、自治体・医療機関との連携を強化
し、当事者への情報提供を推進します。必要な情報を必要なタイミングで届ける仕組みを整
えるとともに、ペリネイタルロス(周産期の喪失)に対する社会全体の理解促進を目指し、行
政・医療・地域と協働した取り組みを広げてまいります。

収支報告

別途、決算報告書(PDF)参照

ご支援いただいている皆さまへ

2023年6月1日に、流産・死産・新生児死・乳児死・中絶など、さまざまなかたちで大切な命とのお別れを経
験されたすべての方に寄り添うため、一般社団法人BECAMEは設立されました。

設立から2年目となる2024年度は、当事者同士のつながりを支える「おはなし会」の継続開催に加え、就
労支援、自治体・医療機関との連携、法人向けの研修・制度提案の展開など、支援の幅を一步ずつ広げ
ることができました。

これらの取り組みを続けられたのは、2023年度に行ったクラウドファンディングやご寄付をはじめとする皆
さまの温かなご支援、そして群馬県赤い羽根共同募金会様、NPO協議会様からの助成金など、多くの
方々からの後押しがあってこそです。心より感謝申し上げます。

2025年度は、さらに多くの当事者の方々が安心して必要な支援にアクセスできる社会の実現を目指し、
BECAMEは活動を進めてまいります。ひとつひとつのご支援が、誰かの「ひとりじゃない」と思える瞬間に
つながっています。

今後とも、どうか温かいご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます